

令和 3 年 4 月 1 9 日
環 境 政 策 課

青森県における 2018 年度(平成 30 年度)の温室効果ガス排出状況について

1 温室効果ガス排出量

○県内の排出量：14,638 千 t-CO₂ (全国の 1.2%)

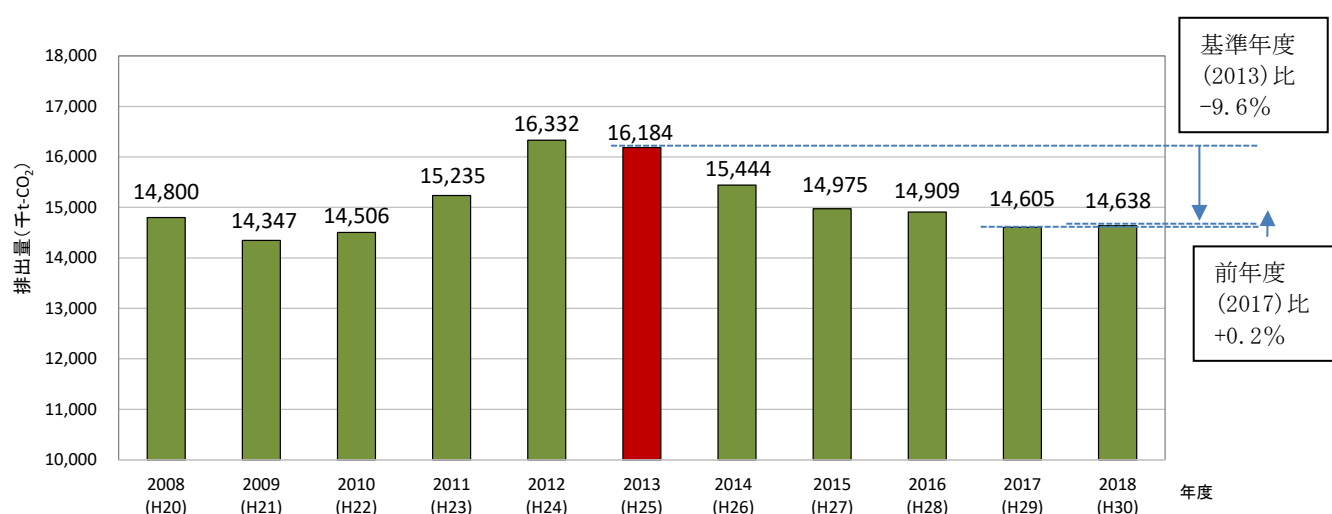
○青森県地球温暖化対策推進計画の基準年度比（2013 年度（平成 25 年度）比）：9.6%減少

※同計画の目標値：2030 年度までに 2013 年度比で 31%削減

○前年度比（2017 年度（平成 29 年度）比）：ほぼ横ばい（0.2%増加）

排出量が減少しなかった主な要因としては、1kWh の電力を発電する際に排出される二酸化炭素排出量を示す電力排出係数が 0.2%上昇（2017 年度：0.521kg-CO₂/kWh、2018 年度：0.522kg-CO₂/kWh）したことが考えられる。

【温室効果ガス排出量の推移】



2 部門別の二酸化炭素排出量

部門	排出量 (千t-CO ₂)	構成比	基準年度 (2013) 比	前年度 (2017) 比
産業部門	4,810	36.8%	-6.7%	-0.5%
業務その他部門	1,932	14.8%	-24.4%	6.6%
家庭部門	3,130	23.9%	-14.6%	-3.1%
運輸部門	1,992	15.2%	-7.8%	-0.5%
その他部門	1,210	9.3%	9.7%	2.2%
合 計	13,074	100.0%	-10.7%	0.1%

※端数処理の関係で、合計が一致しない場合がある。

○基準年度（2013 年度）からの減少理由として推測される主な要因

- ・産 業 部 門：製造業のエネルギー効率の向上による電力消費量の減少
- ・業務その他部門：省エネ型の電化製品及び建築物の普及による電力消費量の減少
- ・家 庭 部 門：省エネ型の家電製品及び住宅の普及による電力消費量の減少
- ・運 輸 部 門：乗用車の燃費向上

本報告書における温室効果ガス排出量については、推計に用いる各種統計データの変更・修正を受けた過年度データの再計算により、前回まで公表している資料の数値と一致しない場合があります。